

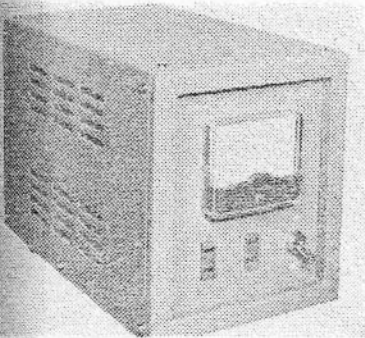
国内新製品紹介

山水の自動電圧安定装置

“PS-200”

従来の鉄共振型 (VS 型) の欠点を十分に研究・検討し、新回路、単一鉄心鉄共振型 (実用家庭用型) を採用したもので、電子計測機器、家庭電化製品にはもちろん、写真用引伸機をはじめ各種の医療機器にも適する製品である。本機の主な特長は、電力損失が従来の製品の 1.2 程度に減少して効率を改善し、温度上昇を低くしていること、負荷に対する電圧変動が少ないこと、漏洩フラックスが非常に少なく近接機器への影響がほとんどない、単一鉄心の使用により、容量および重量が従来の 1.2 程度に減少してきたこと等である。規格は下記のとおり。

容量: 定格 200 W, 周波数: 50, 60 c/s 両用。安定度: 入力 85~190 V の範囲において出力電圧 100 V (±2%) 以内。効率: 80% 以上 (200 VA にて)、力率: 85% 以上、応答時間: 0.05 秒以内、歪率: 8% 以下。外形寸法は横 150×高さ 170×奥行 260 (mm)、重量は 9 kg である。



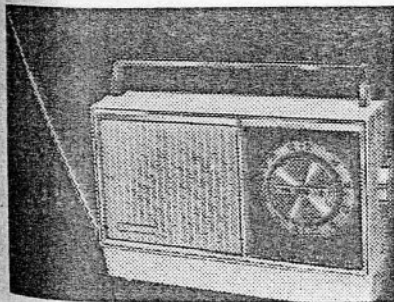
(東京都杉並区和泉町)

山水電気 K. K.

アイワの新製品 2 種

●FM AM 12 石 TR ラジオ “AR-112”

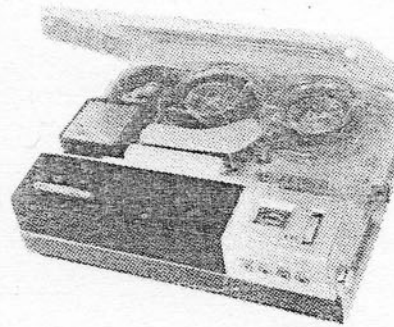
FM AM のトランジスター・ラジオの普及策として出したもので、トランジスター 12 個ダイオード 4 個、サーミスター 1 個で、受信周



波数は AM は 535~1605 kc, FM は 76~90 Mc (輸出用は 88~108 Mc) である。出力は無歪で 250 mW, 最大 400 mW。周波数特性は 180~6000 c/s (±3 dB)。スピーカーは 90 mm (6 Ω)、電源は単二×4(6 V)、アンテナは 5 段引伸はして、自由に回転できるものである。外形寸法は 184×220×65 mm である。

●TR テープレコーダー “TR-701”

録音・再生・巻戻し操作の非常に簡単な 2 スピードのトランジスター・テープレコーダーである。新型のレベルメーターで録音状態や電池の消費度が一目でわかる。音質のよいダイナミック・スピーカーにはリモート・スイッチがついており、これによって録音の遠隔操作ができる。テープ・スピードは 9.5 cm sec と 4.75 cm sec で、スリプ交換により切替える。使用トランジスターは 6 石である。録音は直流バイアス、消去は直流消去で、ダブル・トラックである。3 号テープで 4.75 cm sec のスピードなら片道 34 分の録音ができる。巻戻し時間は 2 分以内。出力は無歪で 200 mW, 最大で 300 mW。フラッターは 9.5 cm sec, 4.75 cm sec の両スピードとも 0.8% (聴感補正値) となっている。スピーカーは 70×11 mm の楕円形で前面についている。重量は 2.1 kg。



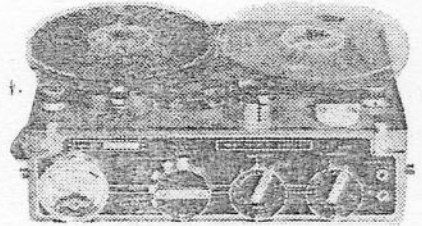
(東京都千代田区神田元佐久間町 4)

アイワ K. K.

ソニー、スイスの テープレコーダーを販売

ソニーではこのほどスイスのクテルスキー社と提携し、同社が製造する高性能の小型テープレコーダーを日本の総代理店として輸入・販売することとなった。9 月末よりソニー・クテルスキー・テープレコーダーの名称で発売される。向うでの名は“ナクラ 3BH 型”である。携帯用制携帯型でありながら、スタジオ型レベルの性能をそなえ、完全サーボ・メカニズムの採用により歩きながら録音してもワウ・フラッターは不変である。録音・再生専用のアンプを内蔵しているため録音中のモニターも可能。スピードは 3 スピードで、周波数特性は 38 cm sec のとき 25~20,000 c/s, 19 cm sec のとき 40~

14,000 c/s, 9.5 cm sec のとき 50~7,000 c/s となっている。テープは 7 型リールまで使用でき、アダプターをつけると AC でも使用できる。S, N 比は 52~57 dB, ワウ: 0.07% (38 cm/sec のスピードで)、スピード偏差は 0.1% 以内。録音方式は交流バイアス全幅録音方式である。電源は直流 (単一×12 本) または交流となっている。外形寸法は 320×220×110 mm で、重量は 6.2 kg, 価格は本体のみで ¥362,000。



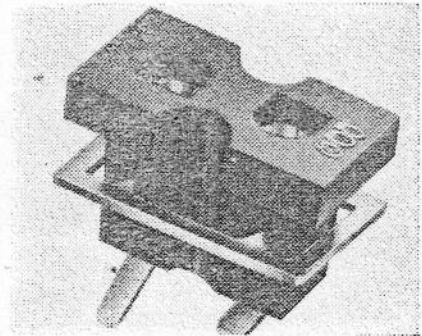
(東京都品川区北品川 6 の 351)

ソニー K. K.

QQQ の水晶用ソケット

“き 384”

小型水晶発振子のソケットとして、従来は TR 用ソケットが代用されていたが、このたび中央無線では写真のような専用ソケットを発売した。HC18-UP 型水晶発振子用に好適である。

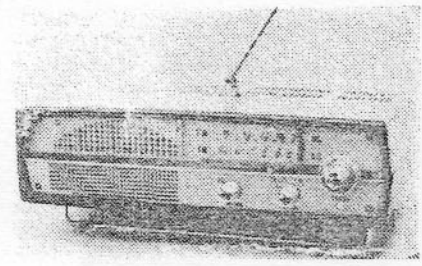


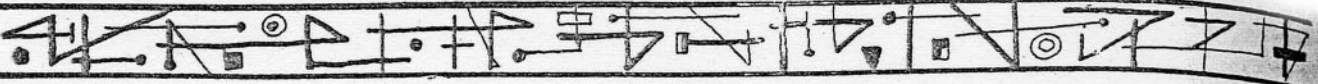
(東京都大田区大森 2 の 181)

中央無線 K. K.

リンカーンの FM/AM ラジオ

FM: 76~90 Mc, AM: 535~1605 kc の 2 バンドのスーパーである。使用真空管は 12D



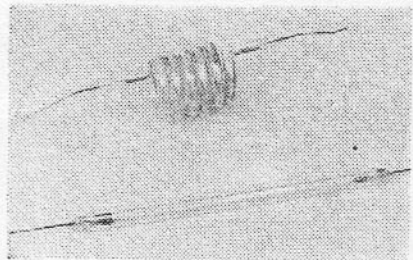


8T×2, 12BA6, 12AV6, 12BE6, 35C5 にダイオード 2 個という内容で、スピーカーは 15×35 cm (6"×3") 楕円型のものを使用している。出力は 1W。消費電力は 50 VA である。外形寸法は 375×100×215 mm。重量は 2.55 kg である。完成品の正価は ¥9,500。
(東京都品川区西大崎 1 の 390 Tel: 491-4755)

リンカーン電機 K. K.

ルックスのレーザー用 ストロボ 2 種

ルックス電子工業 K. K. から今回レーザー用ストロボ発光管 LSR3000, LSS2000 が新発売された。人工ルビーをエキサイトして、6900 Å のレーザー波を共振するもので、高照度閃光管で LSR3000 はスパイラル状で石英製。陽極電圧は 2500 V~3500 V 2 kW LSS2000 は直線状で陽極電圧 900~1500 V 石英製尖頭質量 12×10⁷ ルーメン 1 kW 色温度 6700°K 波長範囲は 2900 Å~9000 Å まで、このレーザーには 5600 Å のピークの所が用いられる。クロームの入った人工ルビーはこれによってエキサイトされ 6900 Å のコヒーレントの超短波を出す

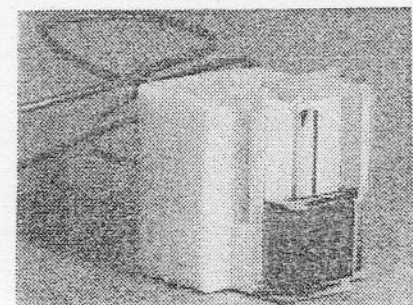


(東京都品川区南品川 6-1-495
Tel: 491-3663)

ルックス電子工業 K. K.

超小型指示計 “シンクロメーター”

共立電気計器 KK が電子機器メーカーと協力し、小型軽量にして耐振性に重きをおいて完成した劃期的な製品である。なお動作の均一性、温度特性など計器としての性能は次のとおり
感度: 80 μA~1 mA 1 mA 以上シャントを要す
大サ: 幅 15×高さ 18×奥行 15 mm
重サ: 5 グラム 定価: ¥300 -
これを FM 同調指示計に使い、同時にダイヤルの針に利用すると真に重宝である。正しく

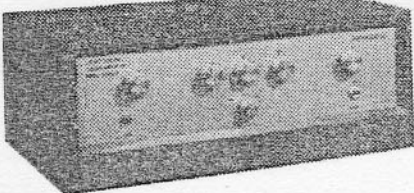


同調したとき中央を指し、高い方に切れると右。低い時は左に振れて離調度を指す。ステレオの正しい調整。オートメーション機器の補助計器にも最適である。また場所をとらず劣化しないマジックアイとしても活用方面が広い
(東京都渋谷区宇田川町 43)

日本通商産業 K. K.

OTL ステレオ・アンプ “AG-11BX”

充実電気 KK の製品である。オーディオ回路で歪の原因となる鉄芯およびコンデンサーを一切使用していない。ステレオ・アンプ中の基準増幅器として製作したもので、このアンプはシグナル・ソースの良否が明確に判断できる。出力管はカラー・テレビなどの垂直振幅用に使われる 12B4A を 2 本使用している。使用真空管は 12B4A×2, 12AX7×4, 6AN8×2, 6X4×2 それにシリコン・ダイオード SD-1×10 となっている。出力は 40 W (20 W+20 W)。再生帯域は 10~30,000 c/s。出力インピーダンスは 16 Ω。ダンピング・ファクター: 45。イコライザーは RIAA (NF 型)。トーン・コントロール: 70~10000 c/s (±10 dB NF 型)。外型寸法は 幅 490×高さ 185×奥行 320 (mm) で、木製ウォルナット仕上げである。定価は ¥88,000。



(東京都中央区銀座西 6 の 1)
銀座オーディオ・センター

サンヨーの新製品 2 種

●2 チューナー・ステレオ・アンプ “STG-470”

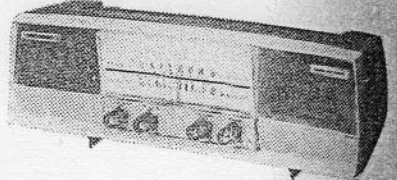
右チャンネルが MW: 535~1605 kc. SW. 3.8~12.0 Mc, FM: 76~90 Mc の 3 バンドで左チャンネルが MW だけという 2 つのチューナーを備えたステレオ・アンプである。使用真空管は 17EW8, 12BE6×2, 12BA6×4, 6AV6×4, 30A5×2 にシリコン整流器。ダイオード IN60×3, 1S86 を使っている。出力管 30A5 は固定バイアス方式で動作させているので、出力大きく歪は少ない。出力は無歪 2W+2W。最



大 2.5W+2.5W クロストークは 40 dB (1000 c/s)。スピーカーは 18 cm と 6 cm の 2 個が左右につく 2 ウェイ方式で、再生周波数範囲は 50~20000 c/s となっている。残響附加装置とその加わり具合の見えるリバーブ・インジケーターがついている。消費電力は 60 VA。プレーヤー部は 4 スピードのシンクロナス・モーターを使い、ターンテーブルは 18 cm、ピックアップはクリスタル・ステレオ型。その出力は ST. LP, SP ともに 0.2 V (50 mm/sec/1000 c/s) クロストーク 17 dB 以上である。外形寸法は 幅 1100×高さ 794×奥行 350 mm である。現金正価は ¥49,000。

●5 球 2 バンド・ラジオ “SF-41”

12BE6, 12BA6, 12AV6, 30A5, 35W4 の配列で MW: 535~1605 kc. SW: 3.8~12.0 Mc の 2 バンドである。スピーカーは 10 cm 型を 2 個使用しており、出力は 1 W である。消費電力は 29 VA。外形寸法は 475×161×159 mm である。現金正価は ¥7,300



(大阪府守口市京阪本通 2 の 18)
三洋電機 K. K.

パイオニアのステレオ・プレーヤー “PL-4”

セミ・プロフェッショナルといえるステレオ・プレーヤーで、モーターは 4 極ヒステリシス・シンクロナス型。ターン・テーブルは 30 cm 軽合金ダイキャスト (1.6 kg)、SN 47 dB 以上である。カートリッジはムービング・マグネット型で、20~21,000 c/s がフラットな特性になっている。PU の針圧は 3~4 gr、針先の交換も楽である。アームはスタティック・バイブ型で、スライド方式によりボード上に取付けてあるアームの上下ができるようになっている。価格は下記のとおりである



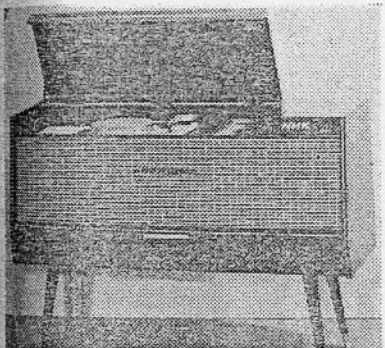
PL-4 カートリッジおよびケース付 ¥33,000
PL-4S カートリッジなし、ケース付 ¥27,000



PL-4U フレーヤー・ユニット
 ケースおよびカートリッジなし 18,900
 PL-C1 カートリッジ 6,000
 PL-N1 ダイヤ針 2,400
 (東京都文京区音羽町6の5 Tel: 941-3181)
 パイオニア K. K.

ナショナルの新製品2種

●スーパーソニック “HE3000”
 Ch₁がFM, SW, MWの3バンドで、Ch₂がMWのシングルバンドになっている。使用真空管およびダイオードは 17EW8, 12BE6×2, 12BA6×3, 12AT7×3, 6AQ8, 15MP19×4 (PP2チャンネル), 12ZE8, 0A79×4, 5D-1×2である。出力は無歪で 4W+4W 最大で 5W+5W。周波数特性は 60~15000 c/s。S/N比は -55dB。クロストーク -35dB。残響付加装置もついであり、残響変化範囲は0~2.5秒である。また本機独特のエキスパンダーにより、音のダイナミック・レンジをひろげ迫力のある音を出している。
 スピーカーは 20cm DU コーン型 8P-W 3H が2個 (インピーダンスは 80Ω) プレーヤー部はハイシンクロ型フォノモーターを使用し、4スピード (リム・ドライブ) となっている。ターンテーブルは 20cm ゴム・シートつき、ピックアップはセラミック型 (プラグイン式)。針圧は 4gr である。消費電力は 120VA。外形寸法は幅 1120×高さ 781×奥行 404mm。重量は 28.2kg である。現金正価は ¥59,800



(大阪府北河内郡門真町)
 松下電器・ステレオ事業部

●セラミック・マイク

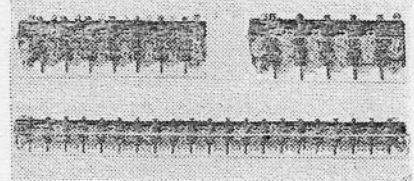
わが国で初めてというセラミック・マイクが松下通信工業により発売されることになった。今までセラミックはその電気的出力の少ないのが欠点とされていたが、松下電器で独特の製法により性能均一の高出力セラミック素子 “ナショナル・ソノタイト” の量産化に成功したためである。セラミック・マイクはクリスタル・マイクが湿度・温度に弱い (温度 50~60°C、湿度 90%) のに対し、その点が温度 110°C、湿度 100% と非常に強いのが特長である。感度は -59dB (0dB=1V/μbar 1000c/s)、周波数範囲は 100~5000c/s、インピーダンス 150kΩ (1000c/s)、指向性はおおむね無指向性である。テープレコーダー、観光バス用アンブなどに好適である。外形寸法は幅 54×高さ 70×



奥行 24mm で、重量は 100gr である
 (横浜市港北区綱島町)
 松下通信工業 K. K.

サトウの端子台

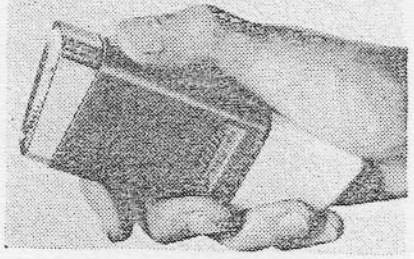
従来の端子台には一部の製品にしか取付けられない記号表示板やカバーを、どの端子台にも取付けられるようにしたもので、ダブル・ネジ (実用新案出願済) にしてある。このネジの使用により、カバーおよび記号板の取はずしは端子台の使用状態のまま行える便がある。同社が現在発売しているカバーつき端子の種類には A 型、B 型、D 型、DM 型、E 型、H 型、AM-1 型、AM-2 型等がある。



(東京都渋谷区恵比寿通1の32 Tel: 441-7215)
 佐藤部品 K. K.

クラウンのポリライト

乾電池のいらぬライトとして売り出したものである。つまり乾電池の代りにアルカリ充電電池 ニッケル・カドミウム電池が入っている。ニッケル・カドミウム電池は度重なる充電によく耐え、放電度がきわめてゆるやかなため、丸一年放置した場合にもほとんど性能に影響が見られないので、ほとんど半永久的に使える。充電式のライトなので充電に必要なプラグを内蔵して、それを家庭の AC コンセントに挿込めばよいようになっている。なお充電の長さは実際に使用した時間の約 5~6 倍が適当とされている。充電電池の電圧曲線は一体になだらかなカーブを描くが、ニッケル・カドミウム電池の場合には特にそれがゆるやかで、明るさの度合は安定である。単三2個を使った普通のライトでは連続点灯はせいぜい2時間ぐらいで、しかも最後の方ではゴツと赤味がきつ程度になっ

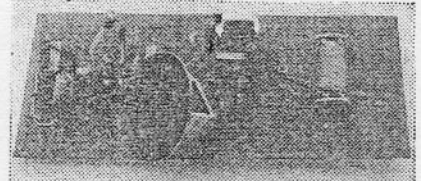


てしまいが このポリライトは約3時間は同程度の明るさを保っている。現金正価は ¥990。
 (東京都台東区東黒門町3)

クラウン K. K.

試作用プリント基板

電子機器はしだいに小形化され プリント基板の使用が不可欠となった。この試作用プリント基板は、トランジスター・ラジオをはじめ、小型電子機器の試作用に考案されたもので、良質なベーク板に無数の穴を明け、裏面はプリント銅箔で相互に接続されている。部品を裏側の穴に挿し込み、裏面でハンダづけし、不要個所の銅箔をナイフなどで切断すれば、どんな回路でも構成できる。この基板の出現で、アマチュアのトランジスター・セットの試作、設計技術者のスピーディな試作が可能になった。

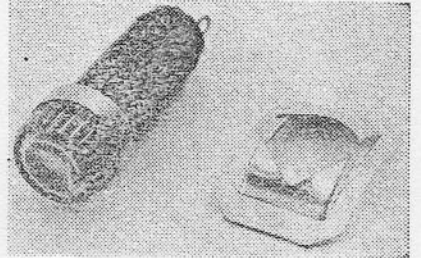


(東京都千代田区神田仲町 1~12 ラジオセンター内 TEL: 291-5871~8)
 島山無線 K. K.

小型パイロット・ブラケット・ネオン “BN-3”

従来のパイロット・ブラケットは低電源を必要として、また、標示灯は電力消費の少ないことが理想であるから、消費電力の少ない「ネオン球」に目が付けられ、使用されており、ほとんどがはみ出した窓からのぞく式で使用されていた。当製品は取付が簡単で、明るいプラスチック製であった。正面中央をレンズにし横面にローレット模様を入れ、内部に反射鏡の構造が取入れられているのでアクリルの全面に光りが出るようになっている。しかも従来のネジ、ナットは使用せず、写真右のようなハガネ板を押込むだけで取付けられる。

なお、AC 80~300V に使用できる (DC は 100V 以上) 消費電力が僅か連続 5000 時間以上。全長: 35mm、首下: 26mm、止穴 9φ、前面外径: 115φ。



(東京都品川区平塚6~218 Tel: 781-4984)
 有限会社・常進電器製作所

菊水の新製品3種

●可変直流電圧安定化電源 “713B”